



町 1680 課号
行 1220
川 1集
発 1編
誌 1969. 1. 20

歳末助け合い募金に感謝

一三三、八二三円集まる

昨年十二月部落長を通じてお願
いした歳末たすけあい募金は皆様
のあたたかいご同情により二四、
八二三円に達し、有志の方の特別
募金九、〇〇〇円を併せると三三、
八二三円になりました。
特別募金の内、五、〇〇〇円は
鹿野川地区の御詠歌のみなさん
の心尽くしです。

国民年金保険料が変わります

国民年金は、予想される老後や
思わぬ事故があったとき、生活費
として年金を支給することになっ
ています。
この年金は、本人が納める保険
料と、その半額の国の負担分を積
み立てながら支払われます。
納める保険料は安く、受ける年
金は多ければそれにこしたことは
ありませんが、将来の長い期間、
健全な年金財政を保つために、保
険料と年金額のバランスを保つこ
とは、非常にむずかしい問題です。
昭和四十二年一月から国民年金
額が二・五倍になり、保険料を二
十五年納めた夫婦は、毎月一万円
の老令年金が受けられるようにな
りました。年金額が上ればその財
源を確保するために保険料も相応
に引き上げなければなりません。
しかし、一度に保険料を二・五
倍以上にしますと、納める人にか
かる負担が急にふえ、未納者をつ
くる原因になりかねません。この
ような現象は、国民年金の趣旨に
反することから、保険料は三回に
分けて小さきぎみに引きあげること
になりました。
昭和四十四年一月(今月)から
国民年金保険料が五〇円ずつ上が
りますのは、昭和四十二年一月に
年金額があがったときの二回目の
保険料額を改定するものです。
年金額の引き上げからかなり経
過しておりますので、ピンとこな
いかもありません。
こんどの引き上げて、一月月の
国民年金の保険料は、三十四円ま

新春を迎えて

町長 池田 萬千雄

昭和四十四年の新春を迎え、
町民の皆様方からのお慶びを
申しあげます。
昨年はちょうど明治百年の記
念すべき年にあたり皆様と共に
その記念すべき年を祝い、かつ
記念行事を通じて来るべき時代
に臨む決意を新たにいたしました
のであります。
新柄当町では、山村振興事業
農業構造改善事業、林業構造改
善事業の三大事業を同時に着手
するという画期的な年にあたり
ました。引き続き本年こ
そ、これら諸事業をはじめ、お
互い住民が未来に希望をもち、
楽しく暮らす魅力ある町とするた
めの諸対策を、来るべき百年へ
の視角と新たな決意をもってす
めるべき出発の年であります。
本年上期には、多年の念願で
ありました通信網が完成し、加
での人二五〇円、三十五才から三
〇〇円になりますので、保険料の
金額をお間違えにならないよう御
注意願いますと共に、将来の生活
保障のために、これからも毎月納
めていただきますようお願いしま
す。
国民年金について、ご質問やご
意見がございましたら町の係員か
社会保険事務所、又は県の国民年
金課へおたずね下さい。

卒業期の非行防止

二月末から三月にかけては、受
験・卒業・進学・就職と少年たち

入数九八六機官公庁などのもの
を除いても全所世帯の八〇%が
電話で結ばれます。又道路につ
いても小藪・白石線を結ぶ循環
線に着するものを始め、農・林
構造改善事業及び山振興事業の進
捗と生活の基盤である通信、交
通の網は町の全域に及び、発展
と飛躍の基本条件はほぼ整うも
のと考えております。
地方財政をはじめ農山村をと
りまく情勢は決して楽観を許さ
ぬものがあります。与えられ
た条件のうえに立ち、これを活
用する想を練り協力してまいり
ますれば、富町文化の町の実現
は決して不可能ではありません。
町民の皆様、町行政に対し
ます力強い参加と協力を懇願
しますと共に、ご家運の隆盛を
祈りましてご挨拶いたします。

妊娠届出 は早目に

祝福された結婚によって妊娠と
きづかれた場合は、妊娠三カ月か
四カ月になると専門医師の診察を
受けて町役場に妊娠届を提出して
母子健康手帳の交付を受けて下さ
い。
尚手帳といっしょに、「赤ちゃん
」と云う母親学級、育児学級の
テキストもお渡しします。
このように妊婦さんは、社会や
県や国が、みんな母体と赤ちゃん
の健康を守るために努力してい
るのです。

ねずみ退治は 今が一番

ねずみは農家を主として全国で
は年間十四億円以上の経済的な損
害を与えているといわれ、その上
赤痢や食中毒等色々な病気を媒介
して多くの被害を与えております。
ねずみは三月頃から繁殖期が始
まり、五、六月頃がもっとも多く
なる。この逆にいちばん少ないの
は一、二月頃であるから、この時
期にうまく退治すれば一挙に絶滅
することが出来るはずで、でも
部落で共同して一斉に行なわな
ければなりません。
自分の家だけ退治したのでは生
き残り組が隣へ引越して行くと
いうこともあるが、死なずに移動
したのでは、ますます増えてしま
います。
ねずみがあまり身近にいるため、
「ああまたねずみかー」ぐらいの
感覚で放っておきがちであるが、
この寒い二月を利用して各部落一
斉にねずみ退治を致しましょう。
一斉駆除用の薬剤については役
場であつせんします。



たばこの投げ捨てと寝たばこをやめよう

寄生虫は万病のもと

本年度も一斉に寄生虫予防の検便をおこないますから一人残らず検便して下さい。

一人残らず検便を

も増ます。

寄生虫は勉強の大敵です。

根気がつづかなくなり記憶力が悪くなって来ます。

自分は大丈夫だと思っても油断は大敵です、蛔虫卵などは風でホコリと共にとんで来てうつりますので検便は毎年必要です、もし保虫者が検便をしなかったら他人に感染させて迷惑をかけます。

寄生虫をお腹の中で飼っているといろいろの病気のもととなります、胃腸障害、睡眠障害から神経質、食欲不振、体重減少、だんだん身体が弱ってきます。

寄生虫は美容の大敵です。

美しくありたい人は一万円の化粧品より一回の検便がはるかに大切です、虫の出す毒素で胃腸が悪くなるので顔色が悪くなり小ジワ

円負担しますから、個人負担は十五円です。健康で明るい生活をするためにこそ検便をして下さい。

おしらせ

◎妊娠検診並に乳児健康相談を実施いたします。多数の御参加をお待ちしております。

一、日時及場所
一月二十八日、午後一時から三時まで

役場会議室

二、該当者

妊娠及生後三カ月から十二カ月の赤ちゃん、その他希望者。

◎香典返し福祉事業へ寄附
大谷・宮武懇丸氏はご令室稲穂

さんのご死去による香典返しを肱川町社会福祉協議会へ二万円寄附された。協議会は募金に繰入れ有益事業に使用している。

林業だより

肱川土場木材相場表

長寸	寸	すぎ	ひのき	まつ	その他
4	7cm下	90	90		ザツバルブ
4	8"上	62	65		1.5m~2.1m
4.20	12"	65	110		末口6cm上
	16"	66	100	45	17円50銭
	30"	72	125	50	
3.0	7下	59	60		マツバルブ
3.0	8上	45	50		1.5m~2.1m
3.2	13"	80	130		末口6cm上
	16"	64	100	36	22円50銭
2.0	7下	33	35		マツ箱材
2.1	8上	25	25		1.8m~2.1m
	16"	35	39		末口13cm上
	30"	47	45		27円~31円
1.0	12上	20	23		
6.0	13上	80	145		
足	場	1mにつき	65~100		

本表は 肱川町内の自動車土場の価格です(才当り) 故に 運賃や市場手数料など差し引いたものです

乾しいたけ相場表

大分しいたけ共同販売所に於ける相場

1.入札の月日	44.1.9
2.入札の箱数	28,700kg
	1,700ケース
	35社
3.価格	高値 2,880
	(K当り) 平均 1,720
	安値 750
4.概要	



一口医学 運動調節

リユーマチ性疾患にはいろいろなものがありますから、医師の診断を受けて適当な治療を受けることが大切です。

家庭での注意
急性リユーマチは、心臓障害をおこしやすいので、急性期には絶対安静が必要です。

急性期が過ぎて、だんだんふつ

うの生活に移行する期間にもむりをして急に運動量をふやしたりするのは禁物です。

慢性リユーマチの場合、治療に長期を要するものであることをよく承知し、いたずらにあせらないことです。

期間が長いので、安静と運動とのかねあいがむずかしいところがあります。いつまでもひたすら安静だけを心がけていると、筋萎縮や関節のゆっやくをおこしますが、反対に運動をしすぎると症状を悪化させます。

はじめは一日二回、数分以内ぐらい運動し、少しずつ運動量をふやすよう、医師とも相談をしながら進めましょう。

自衛官募集

- 一、資格 十八才~二十四才 男子
- 二、待遇 国家公務員 俸給一七、六〇〇円 年三回ボーナス
- 三、詳細は町役場住民課又は自衛隊地方連絡部大洲分駐所へお問合せ下さい。
- 四、四ヶ月 衣食住無料

空気乾燥しています

空気がかわいているので万一火を出すと、大火事となってしまいます。

火災の原因のうち一番多いのがなんとたばこの火の始末なのです。たばこはだれでも気軽に吸いますし、火元が小さいので火事となりがりまでは考えずにその辺にポンと捨てられることが多いためと思われまます。

近頃は装飾的な浅い灰皿が多いようすが家庭ではフチが広くて深さのある実用的なものを使いましょう。

この寒空に焼けたら根こそぎ消えてしまつて何も残りません。たばこの吸いがらばかりでなく、冬は練炭の残り火やマキのえさしが出ますから寝るまえには良く火の元を見て回り、台所か土間には必ずバケツに一杯の水をくんでおきましょう。

それだけで全部の財産が助かる可能性もあるのです。



12月のできごと

- 1日 防火デー (自治体消防20周年記念式典)
- 3日 民生委員会
- 7日 選挙管理委員会
- 8日 曲田橋落成式
- 10日 団体長会
- 11日 予子林農集電話開通式
- 14日 農業委員会
- 19日 12月定例町議会
- 21日 部落長会
- 26日 消防団年末警戒に入る
- 28日 御用納め

子供や老人を交通事故から守ろう。

みんなので飲酒運転を追放しよう。